

女性活躍・男女共同参画の重点方針2026（女性版骨太の方針2026）に対する意見

2026.6.19

大崎麻子

本重点方針（案）について、「健康」「成長戦略分野」「地域」という3つの重点分野を掲げ、女性活躍・男女共同参画を戦略的・体系的に推進しようとしている点を高く評価します。特に、「17の戦略分野における女性活躍」を一つの柱として位置づけたこと、地域における多様な主体の連携・協働を重視したこと、男女別データの収集・分析や全ての意思決定への女性参画を基本とする考え方を明記したことは、大きな前進であると考えます。

また、独立行政法人男女共同参画機構（JGEPA）による自治体支援機能の強化や、男女共同参画センターを地域の連携・協働の拠点として位置づけたことも重要です。地域におけるジェンダー平等の推進には、男女別統計や分析などのエビデンス基盤と、市民社会、男女共同参画センター、女性団体等の実践力・ネットワークの双方が不可欠であり、その方向性が示されたことを高く評価します。

その上で、今後の実施段階に向けて、以下の点について更なる拡充を期待します。

第一に、成長戦略分野における女性の位置づけについてです。本方針では、人材育成、リスクリング、就業促進等が幅広く盛り込まれていますが、今後は女性を成長分野の「担い手」として増やすだけでなく、「イノベーションの創出主体」として位置づける視点をより明確に打ち出していきたいです。

GX、フードテック、コンテンツ産業、地域資源を活用した新産業などの分野では、女性の経験や視点そのものが、新たなニーズの発見や市場の創出、社会課題の解決につながる可能性があります。女性による起業、新規事業創出、商品・サービス開発などの取組を後押しすることは、多様性によるイノベーションの促進という観点からも重要です。

イノベーションは、必ずしも最先端技術の開発に限られるものではありません。人々の暮らしに根差した課題やニーズを起点として、テクノロジーや地域資源を組み合わせ、新たな市場や価値を創出することも重要です。例えば、花や園芸の分野では、デジタル技術を活用して消費者体験や流通を変革し、ウェルビーイングやコミュニティ形成を支える新たなサービスが生まれています。こうした「暮らし発」のイノベーションは、女性の視点や経験が成長分野に新たな可能性をもたらすことを示しています。

第二に、こうした取組を支える知的基盤・実践基盤の強化です。成長分野におけるジェンダー主流化を進めるためには、海外事例や国内の先進事例の収集・分析、人材育成、自治体や

企業への知見の横展開などを継続的に担う仕組みが必要です。JGEPA には、研修やデータ提供にとどまらず、実践知の蓄積と発信を担うナレッジハブとしての役割を期待します。そのためには、JGEPA に求められる機能に見合った財政的・人的基盤の整備が不可欠です。限られた予算の中で個別事業を積み上げるだけでなく、男女共同参画政策の実装を支える社会基盤として位置づけ、専門人材の確保・育成、国内外のネットワーク形成、調査研究機能の充実、自治体伴走支援の強化等に対して、中長期的かつ戦略的な資源投入を行うことを期待します。

男女共同参画は「あらゆる政策分野に関わる横断的課題」であり、その推進には専門性と継続性が不可欠です。JGEPA が、国・自治体・企業・市民社会をつなぎ、知見を循環させるハブとして十分に機能することが、第6次男女共同参画基本計画の実効性を左右する重要な鍵になると考えます。

第三に、成果の可視化と継続的なモニタリングについてです。女性比率や就業者数といったアウトプット指標だけでなく、政策や事業の企画・実施過程においてジェンダーの視点がどのように組み込まれたか、多様な主体との協働がどのように進んだかなど、社会変革のプロセスそのものを捉える指標や評価手法の構築が重要であると考えます。KPI の設定と定期的な検証を通じて、実効性のある PDCA サイクルを確立していただくことを期待します。

最後に、GREEN EXPO 2027 についてです。私は先日、英国の世界最大級の園芸博覧会であるチェルシーフラワーショーを視察しました。園芸・都市緑化分野は、かつては男性中心の分野でしたが、現在では環境、ウェルビーイング、コミュニティ再生、女性起業などを結びつける新たな産業へと発展しており、多くの女性デザイナーや起業家や研究者が活躍していました。

GREEN EXPO 2027 もまた、女性の参画を促進するだけでなく、女性によるイノベーションや価値創造を国内外に発信する象徴的な機会となり得ると考えます。グリーン経済とは、環境技術や農業にとどまらず、花、食、住まい、ウェルビーイング、コミュニティといった日常の豊かさを支える経済活動そのものでもあります。そうした分野で新たな価値を創造する女性起業家や実践者や研究者を可視化し、次世代のロールモデルとして発信する場として活用されることを期待します。

本重点方針は、第6次男女共同参画基本計画の実施を加速させる重要な取組です。女性活躍・男女共同参画を、特定の分野における「支援策」としてではなく、社会全体の意思決定の質を高め、イノベーションを生み出し、持続可能な地域社会と経済社会を実現するための基盤として位置づけ、今後の具体的な施策の実施につなげていただくことを期待します。